

東京同窓会の皆様へ

能代高校同窓会長 田中 仁純



東京同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年は創立 80 周ということで畠前会長様、太田会長様はじめ多くの会員のご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

ご存知のように能代市は幾多の紆余曲折を経ましたが 3 月 21 日をもって二ツ井町と合併致し、人口 63,000 人の新能代市としてスタートしました。その後、市長選、市議選等がありました。皆様には東の彼方から成り行きを見守って来られたことと思います。

最近では彩香ちゃん、豪憲君の事件で、隣の藤里町のことで、米代川流域の関連から能代市の名前がメディアを通じて全国で紹介され一躍有名になった感があります。悲しい疎しい事件であり、1 日も早く決着してもらいたい気持ちで日々過ごしていますが、皆様はどのように感じておられるでしょうか。

今年も梅雨が明ければ短い能代の夏ですが、7 月 15 日から甲子園予戦が始まりました。母校は第 2 シードとして、好投手畠山君、全県一のスラガー田村君等厚い選手層で久々に甲子園をうかがえるチームでしたが、宿敵金足農業戦に夢を断たれました。しかしここに来て力をつけて来ており、大いに期待しているところです。

かねてから東京同窓会の指導もあり、ホームページの立ち上げについてようやく実施する運びとなりました。東京同窓会のホームページの充実ぶりが「秋田魁新報」に掲載され刺激されたのも事実ですが、その中で、吉田真由美さんの女性の同窓生の輪を拓げるためのブログの書き手としての活躍にも注目しました。

24 期生を 1 期生とする女性会員も 3,000 名に達しました。その組織が会の中心的存在となることを期待し、多くの女性幹事の登用を検討しています。また、樽子山の「青春の碑」も外構整備を進めて 9 月 20 日前後の同窓会総会に合わせて除幕式を予定しています。

首都圏の景気に比べていまひとつの能代ですが、元気に頑張っています。東京同窓会も松陵健児の気概で益々発展されますようご祈念申し上げます。

秋高連幹事長就任に際して

第 26 期 監査役 畠山 信孝



平成 18 年 4 月の役員改選に於て、在京秋田県高等学校同窓会連合会 (秋高連) の幹事長を拝命することになりました。今年で秋高連も設立以来 21 年になりますが、21 年ぶりに県北より友成穂秀氏 (能代西高校関東同窓会) が会長に選出されました。

私事で誠に恐縮ですが小生、昨年 8 月に S 状結腸ガンの為、全摘出手術を受けました。己の不摂生により畠前会長はじめ役員の方々、皆様は大変ご迷惑をお掛け致しましたことをお詫び申し上げます。お蔭様にて手術後の経過も良好なので、秋高連設立当初より長年にわたり活動に加わって尽力されました前事務局長の八柳昭義氏の意志を引継ぐべく、要請を受け入れた次第であります。

現在、秋高連にはオプザーバー校を含め、首都圏にある県下同窓会 47 校が傘下にあります。会員総数は 12 万人弱と推定されるころであります。各ふるさと会をたばねる首都圏秋田県人会連合会が縦の組織とするならば秋高連はさしずめ横の組織と云ったところでしょうか。

今年度の全体総会は 7 月 12 日 (水) 37 校 289 名の参加のもと開催することができました。今年は秋田県教育庁より根岸均教育長にご出席戴き、秋田県下の高校再編及び今後の整備計画等につき 40 分にわたり講演を聞くことができました。少子化により県下の高校の数が減って行く事はさびしい限りであります。時代の趨勢でやむを得ぬ事と思えます。

秋高連は当面の問題として来年秋田で行われる「わか杉国体」に向けて秋高連として何ができるか、ただ今委員会に於て鋭意検討中であります。いささかでも郷土秋田に貢献できれば幸いです。

能代高校東京同窓会の会員の皆様あつての秋高連幹事長であります。何卒、今後とも格別のご高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。